

「関係人口とともに描く 高知の未来図」

参加無料
定員:300名
申込期限
7/18(金)

日時：令和7年7月22日(火)

14:15～17:00

場所：CHRES（旧サンピアセリーズ）
3階レインボーホール
（高知市高須砂地155番地）

高知県は人口減少・高齢化が全国と比べ先行して進んでおり、中山間地域は特に厳しい状況にあります。豊かな自然や伝統文化といった魅力あふれる中山間地域を守っていくためには、関係人口の創出が欠かせず、今回のシンポジウムを通して地域活性化の糸口である「関係人口」の意義を深め、関係人口創出に取り組む地域の増加につなげます。

講演①

「都市と地方をかきまぜる～関係人口～」▶ 14:20～15:00



たか はし ひろ ゆき
講師 高橋 博之氏

▶株式会社雨風太陽 代表取締役社長

1974年、岩手県花巻市生まれ。青山学院大卒。2006年岩手県議会議員に初当選。震災後、復興の最前線に立つため知事選に出馬するも落選、政界引退。2013年NPO法人東北開墾を立ち上げ、世界初の食べもの付き情報誌「東北食べる通信」を創刊、編集長に。2015年当社設立、代表取締役に就任。2023年12月、日本で初めてNPOとして創業した企業が上場を実現するインパクトIPOとして、東京証券取引所グロース市場へ株式を上場。2024年11月には、内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部が開催する「新しい地方経済・生活環境創生会議」の有識者構成員に就任。

講演②

「にぎやかな過疎～関係人口と作る地域の未来～」▶ 15:00～15:40



お だ ぎ り とく み
講師 小田切 徳美氏

▶明治大学農学部 教授

1959年神奈川県出身。東京大学大学院博士課程単位取得退学。博士（農学）。専門は農村政策論、地域ガバナンス論。高崎経済大学助教授、東京大学助教授を経て、2006年より現職。日本学術会議会員、日本地域政策学会会長、国土審議会委員、食料・農業・農村政策審議会委員、地方制度調査会委員等を歴任。現在は、過疎問題懇談会座長（総務省）、新しい地域政策の在り方検討会座長（全国町村会）、高知大学客員教授を兼任。著書に『農山村は消滅しない』（岩波新書）、『にぎやかな過疎をつくる』（農文協）など多数。

パネルディスカッション ▶ 15:50～17:00

コーディネーター：小田切 徳美氏 コメントーター：高橋 博之氏

パネリスト：甲浦集落活動センターなぎ／とかの集落活動センターあおぞら
集落活動センター秋葉の里 別枝

